

保育所サービス評価結果記入様式

評価実施日（ 令和元年12月2日・3日 ） 施設名（ 大津市立晴嵐保育園 ）

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<b>共通評価基準</b>			
<b>I. 福祉サービスの基本方針と組織</b>			
<b>I-1 理念・基本方針</b>			
<b><u>I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。</u></b>			
(1) I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている	a b c	大津市の「保育基本理念」に基づき、晴嵐保育園独自の理念や保育方針、保育目標を明確に示している。年度初めに職員がほぼ全員参加の「全体会議」において理念や方針を共有している。保護者等には「入園のしおり」、「重要事項説明書」に記載し、保護者会の際にも説明する機会を設けている。	
<b>I-2 経営状況の把握</b>			
<b><u>I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</u></b>			
(2) I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a b c	公立保育所として計画期間を定め地域の状況やニーズを把握し、大津市全体の教育・保育の提供体制の見直しを図っている。「大津市子ども・子育て支援事業計画（平成29年度11月、再改定版）」においても、区域別の認定区分や保育施設等の量や確保方策を計画的に策定している。	
(3) I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a b c		
<b>I-3 事業計画の策定</b>			
<b><u>I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</u></b>			
(4) I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a b c	大津市としての中・長期的なビジョンとして、平成31年3月、「児童福祉専門分科会」より「市立保育園のあり方の方針 基本的な考え方」が答申されている。大津市立園の現状（収支状況も考慮）と課題等を検討し、今後の公立保育園のあり方として、①保健福祉ブロックにおける中核的な役割、②公立保育園の一部民営化移管について提言された。この中・長期計画を踏まえ、具体的に市立園2園の民営化への移行スケジュールが示されている。	
(5) I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a b c		
<b><u>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</u></b>			
(6) I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a b c	毎年年度初めに「大津市立保育園に基準となる全体的な計画」に基づき、晴嵐保育園「保育計画書」「年間目標」を策定している。定期的に毎月開催の「保育会議」や「職員会議」において現状把握や評価を行い、組織的な見直しを行っている。	

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
(7) I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c	「にゅうえんのしおり」や「保育園要覧」、市のホームページなどで事業計画や保育指導計画等を保護者等へ周知している。	市の公立保育園民営化の内容や、保育計画の内容の理解を促す取組みとして、更に様々な機会や手段を用いて、保護者や地域に向け丁寧に説明することが必要と思われる。
<b>I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組</b> <b>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</b>			
(8) 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	(a) b c	園の保育目標や保育研究テーマを掲げ、各クラスの公開保育（園内研修）を行っている。年2回、保育士同士の学びの場として南部ブロック内での交換保育を行い、それぞれの園の取り組みを学び保育の質の向上に努めている。北部・南部の公開保育研修や県保育協会の研修にも参加している。保育士は自己評価を行い、具体的課題を明確にして、計画的に改善策に取り組んでいる。課内のキャリアアップ研修にも参加し保育の質の向上に努めている。	
(9) I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	(a) b c		
<b>II 組織の運営管理</b> <b>II-1 管理者の責任とリーダーシップ</b> <b>II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</b>			
(10) II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a) b c	園長は、毎月の園長会議、保育会議、地域関連会議、関係機関等の会議に出席し、必要事項は保育会議等で職員へ伝達している。他で起こった不祥事などの具体例をあげ、職員一人ひとりと定期的な面談を行い、職員の意識統一を図っている。	
(11) II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a) b c	年1回、コンプライアンス研修を行っている。職員が問題意識として捉えていない場合は、園長が直接面談を行い理解を得るようにしている。	
<b>II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</b>			
(12) II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	(a) b c	園長は4月から赴任し、保育士・職員が学びのための研修等に参加できるよう配慮している。良いチームワークづくりと働きやすい職場づくりを心掛けている。また、常に子どもの育ちの視点で、日常の保育や行事の在り方を再考し、新しい取り組みについては、職員と共に話し合う場を設けている。	
(13) II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	(a) b c		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<b>Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成</b> <b>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</b> (14) Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c	公立保育所の為、保育士や職員等の人材確保や育成計画等に関しては、市の担当課で総合的な人事管理が行われている。具体的な計画等は市のホームページで公開されている。	
(15) Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c		
<b>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b> (16) Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c	週ごとの勤務表が作成されている。土曜保育だけの勤務表もあり、偏りがないよう配慮している。家庭事情などお互い考慮し合い、なるべく有給等も消化できるよう配慮されている。	
<b>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b> (17) Ⅱ-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c		
(18) Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c	キャリアアップ研修をはじめとして、経験年数に応じた個別研修に参加している。人権研修等を含め年間研修計画を立て、園内外の研修にも積極的に参加している。また、定例の保育介護の中で研修時間を設け、外部研修の伝達や情報交換を行っている。園長は職員一人ひとりが学びたい内容を把握し、研修の機会を平等に取れるよう配慮している。	
(19) Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c		
<b>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</b> (20) Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	<input checked="" type="radio"/> a   b   c	大津市立保育所全体で実習生の受け入れ計画があり、その計画に沿って受け入れている。実習前には「実習にあたって」の資料をもとにオリエンテーションを行っている。近隣の中学校・高校の職場体験や専門学校・大学等からの実習生を積極的に受け入れている。	

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<b>Ⅱ-3 運営の透明性の確保</b> <b>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</b>			
(21) Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	(a) b c	公立保育所としての運営内容や財務等に関する情報は市のホームページで公開されている。「大津市基準保育課程」や「大津市幼児教育・保育共通カリキュラム」、「大津市子ども・子育て支援事業計画」、「大津市立幼稚園・保育園のあり方の方針」、「大津市立幼稚園における3年保育実施の年次計画・大津市立幼稚園規模適正化に向けた実施計画」など、様々な情報をホームページを活用し情報公開に努めている。	
(22) Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	(a) b c		
<b>Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献</b> <b>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b>			
(23) Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	(a) b c	園での演劇・発表会には家族や地域の方々が参加している。5歳児の6園（保育園2園・幼稚園4園）交流も行っている。地域の晴嵐まつりにも参加し、5歳児が近隣の保育園や幼稚園児と一緒に「パブリカ」などを踊るといった交流の機会を設けた。地域の文化祭にも出店し、見学の機会を設けるとともに英会話サークルとふれあいの場をもうけた。今年度より主任児童委員の連携モデルケースとして、散歩中の交通事故から園児を守る「キッズ・ガード」に取り組んでいる。また、年4回、近隣自治会の老人クラブとの交流機会も作っている。	
(24) Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	(a) b c		
<b>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</b>			
(25) Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	(a) b c	園は恵まれた環境の中にあり、周辺には消防署、小学校、高等学校がある。3歳児は消防署で直接消防車に触れる機会もある。年2回高等学校との「協力者会議」での交流を行っている。必要時には、「大津市子ども発達相談センター」や「子ども家庭相談室」等の機関を紹介し、連携に努めている。	

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見													
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など												
<p><b>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</b></p> <p>(26) II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>毎月発行している「みつばち広場子育て通信」において園庭開放日や「らんらんサロン」「あそびの広場」「おしゃべり広場」等の就園前の親子を対象とした事業案内を配布している。園長や保育士は園庭に来た保護者へ声をかけ何気ない会話の中から、保護者の想いを聞き取ることで、地域の福祉ニーズ把握に努めている。</p>	<p>AED設置の施設であることを屋外からも確認できるように、掲示板等を玄関扉に貼るなど工夫することを期待する。</p>												
<p>(27) II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>○ a b c</p>			<p><b>III 適切な福祉サービスの実施</b></p> <p><b>III-1 利用者本位の福祉サービス</b></p> <p><b>III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b></p> <p>(28) III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>人権研修を年3回保育会議のタイミングで行っている。園児への言葉遣いや態度を含め、日々子どもの成長を尊重した保育が出来るよう研修を行っている。プライバシー保護等の権利擁護については、大津市のマニュアルに則り、各行事の写真や氏名についても保護者からの同意を事前に求めている。感染症等情報には、症状別にクラス名と人数のみ掲載し、個人名が特定できないよう配慮している。また、職員は全員「子どもの権利ノート」を所持している。</p>		<p>(29) III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p><b>III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</b></p> <p>(30) III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>入園申込までに園の見学を受け付けている。園見学の際は、事前に時間調整するなど、見学に丁寧に応じられるよう工夫している。大津市立保育園共通の「利用申込の手引き」をいつでも配布できるよう準備している。台風時の取扱いや長期休みの協力保育については、必要に応じて保護者会との連名でお知らせを配布している。個人情報に配慮しながら、必要な情報を適切な方法（メール配信等）により提供している。</p>		<p>(31) III-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>○ a b c</p>
<p><b>III 適切な福祉サービスの実施</b></p> <p><b>III-1 利用者本位の福祉サービス</b></p> <p><b>III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b></p> <p>(28) III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>人権研修を年3回保育会議のタイミングで行っている。園児への言葉遣いや態度を含め、日々子どもの成長を尊重した保育が出来るよう研修を行っている。プライバシー保護等の権利擁護については、大津市のマニュアルに則り、各行事の写真や氏名についても保護者からの同意を事前に求めている。感染症等情報には、症状別にクラス名と人数のみ掲載し、個人名が特定できないよう配慮している。また、職員は全員「子どもの権利ノート」を所持している。</p>													
<p>(29) III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。</p>	<p>○ a b c</p>			<p><b>III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</b></p> <p>(30) III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>入園申込までに園の見学を受け付けている。園見学の際は、事前に時間調整するなど、見学に丁寧に応じられるよう工夫している。大津市立保育園共通の「利用申込の手引き」をいつでも配布できるよう準備している。台風時の取扱いや長期休みの協力保育については、必要に応じて保護者会との連名でお知らせを配布している。個人情報に配慮しながら、必要な情報を適切な方法（メール配信等）により提供している。</p>		<p>(31) III-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>(32) III-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>				
<p><b>III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</b></p> <p>(30) III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>入園申込までに園の見学を受け付けている。園見学の際は、事前に時間調整するなど、見学に丁寧に応じられるよう工夫している。大津市立保育園共通の「利用申込の手引き」をいつでも配布できるよう準備している。台風時の取扱いや長期休みの協力保育については、必要に応じて保護者会との連名でお知らせを配布している。個人情報に配慮しながら、必要な情報を適切な方法（メール配信等）により提供している。</p>													
<p>(31) III-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>○ a b c</p>														
<p>(32) III-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>														

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<p><b>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</b></p> <p>(33) Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>年1回、保護者向けアンケートを実施している。更に園独自の取組みとして、年6回（6月・10月・1月に各2回）選択保育参観を行っている。給食の試食や保護者との話し合いを行い、アンケート調査を実施している。</p>	<p>園職員と保護者とのコミュニケーションは出来ているが、更に保護者からの意見が聞けるよう意見箱を設置することを期待する。また、行事等を大きく変更する場合は、保護者の理解が得られやすいよう、保護者会と協力しながらアンケートなどを事前に行うなど、丁寧な方策が求められる。</p>
<p><b>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b></p> <p>(34) Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>○ a b c</p>		
<p>(35) Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	<p>a ○ b c</p>		
<p>(36) Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>○ a b c</p>		
<p><b>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</b></p> <p>(37) Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し、入園、進級時には確認できるよう記載している。毎年7月に個人懇談を行い保護者からの意見を聞く機会を設けている。お迎え時にどの保護者も直接クラス担任に相談しやすい雰囲気を作るよう心掛けている。クラス担任が聞き取った苦情や要求等は、すぐその場で答えを返さないよう心掛け、会議等で組織として対応を検討し共有している。</p>	<p>事故やヒヤリハット等が発生した場合は、大津市共通の「危機管理マニュアル」に則した対応が出来るよう体制を整えている。ヒヤリハット等については、会議で他の職員と共有し、再発防止に努めている。月1回の避難訓練では、様々な危険や災害を想定して年間計画を作成しており、事前予告なしの訓練も実施している。園には看護師が常勤しており、嚙下が弱い園児への刻み食提供や、感染症予防等に取り組んでいる。</p>
<p>(38) Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>○ a b c</p>		
<p>(39) Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>○ a b c</p>		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<p><b>Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保</b></p> <p><b>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</b></p> <p>(40) Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>「大津市基準保育課程」、「大津市幼児教育・保育共通カリキュラム」に、保育についての標準的な実施方法が文章化され保育が提供されている。現在発行されているものは平成22年に作成されたものであるが、現在園長会議のメンバーを中心に大津市として見直しが進められている。</p>	
<p>(41) Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>○ a b c</p>		
<p><b>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</b></p> <p>(42) Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>クラスごとに月案、週案、日案の保育計画が立てられており、実施状況や子どもの様子を確認しながら、より良い計画となるよう随時変更等を行っている。児童表にはアセスメント結果が詳細に書かれており、日々の保育に基づいた指導計画が立てられている。毎日昼に行われる「チーフ会議」や「保育会議」等でも話し合いを行い、個別指導計画も評価・見直しが行われている。</p>	
<p>(43) Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>○ a b c</p>		
<p><b>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</b></p> <p>(44) Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>○ a b c</p>	<p>園児一人ひとりの児童表には、保育の実施記録が詳細に書かれており、クラス間での職員の共有化が図れている。0歳から2歳児のねらい（目標）に対して、個人の指導計画を立て、「ねらい会議」で評価・見直しを行っている。記録の管理体制については「文書分類表」に基づきファイル別の保蔵期間などすべてバーコードで管理している。5歳児については、「保育園児童保育要録」に則した記録の管理体制が整っている。</p>	
<p>(45) Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>○ a b c</p>		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<b>内容評価基準</b>			
<b>IV-1 保育内容</b>			
<b>IV-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成</b>			
(46) IV-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a b c	「大津市基準保育課程」を基に、年間を通じた職員の共通理解として年間テーマを掲げ、指導計画や園内研修に活かしている。園児一人ひとりの姿や状況、成長過程に応じた豊かな保育・教育に取り組んでいる。保育目標の一つである「心身の健康と情緒の安定を図り、基本的生活習慣の自立を養う」ことを念頭に、個別の保育計画を立案し実施している。	
<b>IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開</b>			
(47) IV-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a b c	園全体がフローリングで、床暖房も備えられており、冬場でも未熟児が裸足で過ごしても暖かみが感じられる環境が整っている。	
(48) IV-1-(2)-② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a b c	園児が落ち着いて集団生活が送れるよう配慮している。保護者との連携を連携を図り、家庭での様子や園での過ごし方を共有している。落ち着かない子どもに関しては、必要に応じて個別対応をしている。事務室の一角に子どもが落ち着けるようなゾーンを設け、個別対応しやすい環境を整えている。靴を揃える、うがい、手洗いなどの場面で、子どもが主体的に楽しんで生活習慣が身につくような掲示物の工夫がある。また、手洗いチェッカーを導入し、手洗い残しを子ども自身が視覚的に捉えられることで、気づきに繋げている。	
(49) IV-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a b c		
(50) IV-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a b c		

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
(51) IV-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c	意図的に同じ月齢児同士で遊びを行ったり、1歳児との遊びを取り入れたりすることで、1日の遊びに変化をもたせる工夫をしている。部屋内に絵本コーナーなどを作り、落ち着ける空間を用意している。高野豆腐など口に入れても安全なものを利用して、様々な感触が体験できるよう工夫されている。	
(52) IV-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c	靴の着脱などの場面では、長椅子などを置き自分で今ある力を使って自分のことができるよう、できた事への自信につなげている。	
(53) IV-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c	昼寝の時間を季節や年齢に応じて、体力とのバランスを勘案しながら、就学に向けた生活リズムが整うよう細かく配慮されている。園児一人ひとりが自分からやりたいことができるような環境整備に取り組んでいる。	
(54) IV-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c	現在、障がいを持っている子どもも通園している。運動発達遅延の子どもに対しての作業療法士訪問や「やまびこ」や、市の担当者と一緒に家庭（発達）相談を受けている。	
(55) IV-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c	延長保育の場面では、早い時間から合同保育を実施することのないよう配慮している。合同保育においても個々に折り紙や絵本などが選択して遊べる工夫がある。	

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
(56) IV-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a) b c	アレルギーをもつ子どもの保護者には、就学後に戸惑わないよう、学校給食についての情報提供を行ったり、特性を持った子どもへの対応は医療連携を行いながら、保育士が特性に応じた保育ができるよう配慮している。	
<b>IV-1-(3) 健康管理</b>			
(57) IV-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a) b c	看護師が12月より2名配置となり、医療的ニーズがある子どもも安心して通園できる体制が整った。	
(58) IV-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a) b c	各クラスの園児は、担当保育士が関わり発熱は発疹等の異常があれば、保健担当職員（看護師）に連絡して園長と共に対応している。健康診断や視力・聴力検査も行い、異常があれば保護者へ連絡している。	
(59) IV-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a) b c	子どものかかりつけ医からの「アレルギー疾患生活管理指導表」に基づき、除去食を提供している。	
<b>IV-1-(4) 食事</b>			
(60) IV-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a) b c	給食のご飯が残る場合は、保育士がおにぎりやさんとなり楽しく残さずに食べられる工夫がある。おやつにいただくとうもろこしの皮を剥いたり、実際に大きな魚をさばくところを見たりしながら、調理の過程を理解しながら楽しく給食につなげるよう工夫がみられる。アレルギーのある園児には、事前に献立表をチェックしてもらっている。衛生管理の徹底と検食を行っている。	
(61) IV-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a) b c		
<b>IV-2 子育て支援</b>			
<b>IV-2-(1) 家庭との緊密な連携</b>			
(62) IV-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a) b c	毎年7月に懇談会を行っている。保護者との関係が円滑に行われるよう配慮している。保護者会が園庭の整備に協力している。毎年11月には園の行事として、1部・2部に分けた音楽会を開催している。2部の音楽会は保護者が主体で取り組んでいる。5歳児においては、就学を意識し生活リズムを整える目的で、生活習慣カードを帳面にはさみ、家庭と協力しながら目標をもった取り組みがなされている。	

評価基準	評価項目ごとの 評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後、取り組むべき検討課題など
<b>IV-2-(2) 保護者等の支援</b>  (63) IV-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a) b c	登下園の際に手に取れるよう、集合玄関に様々な機関から発行されている地域の情報誌や市の広報物が設置されている。また、保護者から気楽に声をかけてもらえるように配慮している。子育て相談、個別相談、保護者懇談会を行っている。	
(64) IV-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a) b c	保育士や看護師は園児との関わりの中で、細やかな観察を行い早期発見に努めている。権利擁護研修も行われている。	
<b>IV-3 保育の質の向上</b> <b>IV-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</b>  (65) IV-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	(a) b c	園の自己評価や保護者アンケートの結果を保育会議で共有し、年間の保育の取り組みなどと一緒に年度ごとの冊子を作成し、職員へ配布している。	